

留 学 報 告 書

記入日：2024 年 5 月 18 日

留学先国	中華人民共和国
留学先大学・学部 (和文及び英語)	(和) 香港城市大学人文社会科学科 (英) College of Liberal Arts and Social Sciences, City University of Hong Kong
留学期間	2024 年 1 月～2024 年 5 月
留学した時の学年	3 年生 (渡航した時の学年)
留学先での学年	2 年生 (留学先大学で在籍した学年)
帰国年月日	2024 年 5 月 8 日
明治大学卒業予定年月	2026 年 3 月

留学費用項目	現地通貨 (HKD)	円	備考
授業料	0 HKD	0 円	学部間協定校留学のため。
宿舍費	10,000 HKD	200,000 円	1 学期分の料金。
食費	8,000 HKD	160,000 円	1 か月 4 万円と決めていました。
図書費	0 HKD	0 円	必要なテキストは先生がオンラインの PDF で配布してくれました。
学用品費	0 HKD	0 円	必要なものは日本から全て持参しました。
教養娯楽費	4,000 HKD	80,000 円	友達とご飯に行ったり、バレーボールを買ったり、ディズニーなどへ行きました。
被服費	500 HKD	10,000 円	プール用の水着と周辺を散歩する用のサンダルを購入しました。
医療費	0 HKD	0 円	
保険費		39,445 円	明治大学の保険加入しました。
渡航旅費		113,850 円	往復チケット購入しました。
雑費	200 HKD	4,000 円	シャンプー・リンス・メイク落としはルームメイトと割勘でした。
その他 (通信料)		10,691 円	楽天の海外プラン使用しました。
その他 (旅行代)	8,000 HKD	160,000 円	マレーシアと台湾に、各 3 泊 4 日で行きました。
その他 ()		円	
合計	36,977.05 HKD	739,541 円	1 HKD = 20 円レート

渡航関連	
渡航経路	往復ともに JAL の航空便を利用しました。
渡航費用	チケットの種類 エコノミー 往路 56,925 円 復路 61,425 円 (56,925 円 + 4,500 円) 合計 118,350 円
渡航に際して利用した旅行会社やガイドブックを教えてください。	
エクスペディアやスカイチケットなど、あらゆる飛行機予約サイトを比較し、安全性、金額などを考慮して、結局 JAL のサイトから往復のチケットを購入しました。しかし、結局、帰国日を早めることにしたので、追加料金がかかってしまいました。平日だったので、4500 円ほどしかかかりませんでした。祝日などの人が集まりやすい時期に変更しようとする、1 万円近く取られることもあるので、片道で申し込むのも検討しておくべきだと思います。	

滞在形態関連	
種類（留学中の滞在先）例：アパート、大学の宿舎など	
大学の宿舎	
部屋の形態	☐ 個室 OR ☒ 相部屋（同居人数：2 人）
住居を探した方法	
cityu は学生寮があると聞いており、また、学生寮以外だと膨大なコストがかかるらしかったので、絶対に寮に入るつもりで申請開始を待ちました。学部間協定の選考に通った後、cityu の方から寮への応募について書かれたメールが来るので、こまめにチェックして見逃さないことをお勧めします。寮への申請を忘れた場合、最悪、倍以上の生活費がかかることになるらしいです…。	
感想（滞在先の感想とこれから留学する人のためのアドバイス）	
学生寮に関する情報は、学校のホームページや、ホールごとのインスタが存在しているので、それらを参考にすることができます。（例えば cityu hall9 と検索すると出てきたりします。）学生寮はホール 11 まであり、申請の際に、希望の寮を申請することができます。（ホールが増築されるらしいです。）基本的にホールごとの浴室、トイレなどの機能は変わりませんが、新旧が違ったり、教室への近さが少し違ったりします。例えば、ホール 4 は、主に授業に使用される教室棟へのゲートに一番近く、雨の際には傘なしでも教室へ移動できるという利点があります。逆に、そのゲートに一番遠いホール 11 は、設備が新しく、ジムが内设されているという利点があります。自分が何を求めるかによって、ホールを決めるのがいいと思います。	

現地情報
現地で病院にかかったことはありますか？大学内の医務室/診療所や附属病院等で医療サービスを受けることは可能でしたか？
☒ 利用する機会がなかった ☐ 利用した：

学内外で問題があったときには誰に相談しましたか。留学先大学に相談窓口はありましたか。
日常に起こり得る軽めの問題については、ルームメイトに相談していました。それほど重大な問題は起きなかったため、学校関連機関、医療機関に相談することはありませんでした。ただ、問題が起きたときに相談できる GEO(global engagement office)、SRO(student residence office)の存在、また、大学内にある保健室のような場所は認知していました。
現地の危機地域情報をどのように収集し、どのような防犯対策をしましたか。また、実際に盗難等を含む犯罪に巻き込まれたことはありますか？その際どのように対処しましたか？
現地でデモが起こる時には、政府の方から、自身の登録メールに直接事前情報が届いていました。その場合は、デモの周辺地域には近寄らないように心がけていました。
パソコン、携帯電話、インターネット（接続について）現地での利用はいかがでしたか？
学校全体を通してのインターネット接続はとても良かったように感じています。基本的には学校内に、2つの Wi-Fi が存在しています。1 つ目は、単純に利用規約に同意するだけで使える香港の Wi-Fi で、もう1 つはログイン名とパスワードが求められる学校専用の Wi-Fi です。学校の方の Wi-Fi は、1 回つなぐとそれ以降、自動的に接続されるため便利でした。ちなみに、ログイン名とパスワードは cityu の aims のログイン名・パスワードと同じでした。しかし、定期的に Wi-Fi にうまく接続できない事態が発生し、その時はいったん自動接続を解除し、つなぎなおすと接続が改善されました。香港には地下鉄 MTR の駅構内など比較的どこにでも Wi-Fi が設置してありネット環境がいいなと思っていました。
現地での資金調達はどのように行いましたか？
現地での現金調達に関しては、ソニー銀行のデビットカードを用いて、近くの ATM などから現金を下していました。しかし、香港はクレジットカードや現地の IC カード（オクトパスカード）が比較的どこでも使うことができるので、最終的には現金は使わず、クレジットを使ったり、また、オクトパスカードにアップルペイから少しずつ入金して使うようにしていました。
現地では調達できない日本から持っていくべき物があれば教えてください。
基本的に、日用品はすべて入手可能です。しかし物価が高いので、荷物に余裕がある場合は、持てるものは持って行った方がいいと思います。私のルームメイトは、ケーブルがどこに行っても見つからず、困っていました。ちなみに私は、ドライヤーを持っていきましたが、日本よりも高い電圧に対応しておらず、結局使えませんでした。電化製品を持ち込むときは、電圧に対応しているかしっかり確認してから持っていくことをお勧めします。

進路について
進路
☐ 就職 ☐ 進学 ☒ 未定 ☐ その他：

学習についてのレポート	
留学先で取得した単位数合計（科目数）	本学で認定された単位数合計（科目数）
15単位（5科目）	☒ 15単位（5科目） ☐ 単位認定の申請はしません（理由： ）
履修した授業科目名（留学先大学言語）	Culture and Change in Asia
履修した授業科目名（日本語）	アジアにおける 文化と変化
科目設置学部	PIA
履修期間	1 学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Dr. Claudia Junghyun
授業内容	この講義では、アジア全体の社会を、若者文化や植民地支配の歴史など様々な面から、毎週 1 つピックアップして読み解いていきます。
試験・課題など	中試験 40% 中間レポート（グループ） 20% 期末試験 40%
感想を自由記入	授業資料として写真や動画、ニュース記事をたくさん使う先生で、講義を聞いてすごく楽しかったです。授業丸々使って映画を見る回もあって、全体的に楽しめる授業だと思います。また Kpop や引きこもり等の身近な事象を扱ってくれるので、個人的に興味深くて一番好きな授業でした。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	English Linguistics - Communicative Functions of Grammar
履修した授業科目名（日本語）	英語の言語学
科目設置学部	LT
履修期間	1 学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Prof. Meichun LIU
授業内容	文法は、効果的なコミュニケーションを行うための手段として発達してきました。そのため、文法一つ一つに”なぜ”その文法規則ができたのかが存在しています。この授業では、「英語」の文法に研究対象を絞り、”なぜ”その文法が存在しているのか、を学びます！
試験・課題など	継続的な課題 80% ・毎週の出席

	・毎週のグループワーク ・小レポート×2回 期末テスト 20%
感想を自由記入	先生が優しく、しっかりしていて、暖かい、、、そんな思わず授業を受けたいような人柄をしていました。グループワークは毎週同じ人たちで行うので、友達を作りたい人にはオススメです。ただ、他の授業と比べて、課題などのやるべき事が多く、大変に感じました。
履修した授業科目名(留学先大学言語)	Health Care Policy and Ethics
履修した授業科目名(日本語)	ヘルスケアポリシーと倫理
科目設置学部	PIA
履修期間	一学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定
授業形態(チュートリアル, 講義形式等)	講義形式
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Prof. Ruiping FAN
授業内容	安楽死や保険制度など健康に関連する分野の現状や問題点を学び、その上で香港での現状と照らし合わせ、香港の医療の未来を考える授業です。
試験・課題など	中間試験 グループプレゼンテーション 期末レポート
感想を自由記入	基本的にずっと講義で、聞いているだけなので、取り扱うトピックに興味がある人におすすめです。出席は取られず、完全に課題・発表の良し悪しで成績が決まります。
履修した授業科目名(留学先大学言語)	The Hidden City: Space, Power and Social Processes in Hong Kong
履修した授業科目名(日本語)	隠された都市：香港における空間、権力と社会的プロセス
科目設置学部	PIA
履修期間	一学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定
授業形態(チュートリアル, 講義形式等)	講義形式
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Prof. Ho Alfred Tat-Kei / Dr. Lawrence YUNG
授業内容	香港は小さな都市ながら、複雑な社会的・政治的プロセスに満ちており、普通の人の目には見えにくい、空間、人物、権力関係が存在しています。そのような都市の「隠された側面」を、講義・グループワーク・フィールドワークを通して学びます。

試験・課題など	継続的な評価 100% ・グループワーク（出席） ・個人レポート ・グループレポート ・グループプレゼンテーション ・グループでのフィールドワーク
感想を自由記入	とにかくクラスに留学生しかいません。なので、ヨーロッパやアメリカ人の友達が作りたい人におすすめです。また、グループでの課題が多いのですが、固定メンバーなので仲良くなりやすい気がします。
履修した授業科目名（留学先大学言語）	Food: Culture, Science and Society
履修した授業科目名（日本語）	食べ物：文化、科学と社会
科目設置学部	PIA
履修期間	一学期間
単位数	3
本学での単位認定状況	3 単位認定
授業形態（チュートリアル、講義形式等）	講義形式
授業時間数	1 週間に 180 分が 1 回
担当教員	Prof. CHAN Yuk Wah
授業内容	この授業では、「文化」や「権力」の側面に焦点を当て、食に関する包括的な理解を深められます。具体的には、社会のアイデンティティとしての食文化の在り方、食の安全性や健康、生産と消費の問題にも触れます。
試験・課題など	継続的な評価 100% ・ほぼ毎週行われるショートエッセイ ・中間レポート（グループ） ・期末レポート（グループ）
感想を自由記入	ほぼ毎週行われるショートエッセイの為に論文を 2 つ、もしくは 3 つ読む必要がありました。単語力がほんとはなかったもので、読むことにすごく時間がかかって大変な思いをした記憶があります。授業内容は、日本のキャラ弁の話や、香港の田んぼ事情など、興味深い内容がたくさん出てきます。

留学に関するタイムチャート

2023 年 1月～3月	異文化という環境への興味から、留学を考え始める。 自分の現状と照らし合わせて、申請までに取れそうな資格基準や留学費用から、学部間協 定校留学を目指すことに決める。 期日までに資格を取得する。 応募書類をそろえて、学部の事務室に提出する。
4月～7月	学部間協定校留学の面接（二次審査）が行われる。（日本語・英語両方で行われる） 大学の方から、合格の通知が o-meiji 上で発表される。
8月～9月	オンラインで英会話を習い始める。
10月～12月	留学に必要な申請をすべて完了させる。
2024 年 1月～3月	1 月： 留学に向けてパッキングを完了させる。 香港に出発 オリエンテーション期間 授業が始まる 3 月： マレーシア旅行
4月～7月	4 月： 期末テスト・レポート課題が始まる 5 月： 期末テスト終了 台湾旅行 香港から帰国

留学体験記

留学しようと決めた理由	留学を決めたのは、違う環境での生活に興味を持ったからです。きっかけは、大学に入って、いろいろな活動をする中で、留学生や在留外国人、訪日観光客と接する機会が増えたことです。そのような人たちと出会う中で、自分とは違う文化を持った土地に、自分自らを放り込んだら一体どんな経験が待っているのだろうか、ということに興味を持ちました。また、日本という国が他国にどれくらい受け入れられているのかを、自分の目で見てみたかったことも理由の一つです。
留学のためにした準備、しておけば良かったと思う準備	留学に行って一番に実感したのが、英語のスピーキング能力の大切さです。香港城市大学では、グループディスカッションやグループレポートなどチームでの作業が多くあります。課題をこなすうえで、分からないことを聞いたりする友達を作るにはコミュニケーションが不可欠ですし、英語でどういえばわからなくて黙っていると、やる気が無いように捉えられてしまう可能性があります。語彙力を鍛えることももちろん大事ですが、簡単な単語を組み合わせ、自分の意思を伝えられるようになっておくことが、なにより役立つと思います。
この留学先を選んだ理由	私の場合は、留学費用が抑えられるということから、学部間協定校留学で留学に行くことを望んでいました。そして、アジア金融の中心である香港には世界中の人々が集まるということを知り、以前より文化同士の衝突・融合などの事象に興味があったことから、それを実際に体験できるのではないかと思い、留学先を香港に決めました。
大学・学生の雰囲気	大学では、出会った瞬間に”どの国から来たの？”と聞かれるくらい、いろいろな国からの留学生が多いです。いろいろな文化を持った人々の交流が日常であるからか、人種差別などの差別は、留学中、私は1回も見かけませんでした。また、みんなフレンドリーで、困っていると話しかけてくれたり、困った時はいつでも聞いて！とSNSを交換してくれる人もいました。
寮の雰囲気	寮では、頻りに学生が交流できるイベントが行われていました。友達作りには最適な環境だったと思います。そして、イベントがあるごとに参加者にはスナックとドリンクが用意されていて、物価が高い香港ではすごくありがたかったです。また、比較的夜まで活動している（部屋での勉強やベンチでおしゃべりなど）生徒が多く、うるさすぎず、でも、静かすぎない環境で、私は好きでした。
学習内容・勉強について	私はリベラルアーツ方式で授業が取れる学部にも所属していました。そのため、いろいろな分野を横断的に学ぶのですが、それに関わらず、ひとつひとつの授業の専門性が高く、授業についていけない、ディスカッションに参加できないなど落ち込むことも多くありました。しかし、予習をしたり、何でもいいから口に出すなど、自分の課題に対して何か一つでも策を持って、それを継続して取り組むことで、時間の経過とともに状況はどんどん改善していきました。また、分からなかったら恥ずかしさを捨てて周りの学生に聞くのが一番だと思います。フレンドリーなので、みんな親切に答えてくれます。

課題・試験について	課題量自体は、日本と変わらないように感じました。しかし、第二言語での課題である事と、私が英語が苦手なことから、時間が2倍くらいかかりました。そのため、一気に課題をこなそうとしたり、前日勉強で済まそうとすると、想像以上のストレスがかかります。なので、英語が苦手な人は特に、課題締め切りやテストの前日に、“遊べるぞ！”と言えるくらいの余裕があるようなペースで挑むことをお勧めします。頑張った分だけ成績は伸びます！
大学外の活動について	友人のつながりで、バレーボールの集まりに参加させてもらったり、趣味が共通する友達ができたので、一緒にカフェ巡りをしたりしていました。
ある平日のスケジュール	8時：起床 9-12時：授業 12-13時：昼食 13-16時：授業 16-18時：自由時間（場合によっては、課題） 18-21時：ルームメイトと夕食食べに行く 21-24時：予習・復習 1時：就寝
ある休日のスケジュール	9時：起床 11-17時：ルームメイトと香港を観光しに行く 18-20時：課題 20-22時：自由時間 22-24時：課題 1時:就寝

